
SMラジオのお便りコーナー！！～ボケとツッコミが織成す協奏曲～

猫上水音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

SMラジオのお便りコーナー！〜ボケとツツコミが織成す協奏曲〜

【Nコード】

N9397N

【作者名】

猫上水音

【あらすじ】

主人公こと七瀬 葵ちゃんの猛烈ギャグラジオコーナー！！！！

登場人物……七瀬 葵（ ・ポケ担当のラジオ司会者）

鈴木 輝（ ・ツッコミ担当のラジオ司会者）

みのたんも（大御所芸能人。ラジオのゲスト）

ON AIR

七瀬「第一回 葵ちゃんのブツ通し100時間生放送！」

鈴木「放送時間なげえ！」

オープニングBGM

七瀬「さあ〜始まりました。葵ちゃん、ちょ〜頑張っちゃいますよ。ちなみに、このラジオは全宇宙で放送されています」

鈴木「放送範囲もでけえ！」

七瀬「このラジオは、『コカ・コーラ』の提供でお送りしてます」

鈴木「スポンサー凄すぎっ！ このラジオにスポンサーいらねえじゃん」

七瀬「いいじゃない。雰囲気大事なのよ」

鈴木「……そんなもんなのか？」

七瀬「さあて、今日のゲストは超豪華一本立て！」

鈴木「いや……人だから。しかも、一本立てって……」

七瀬「ゲストはこの方！ みのたんもさんです！」

みの「ファイナルアンサー」

鈴木「うわっ、マジで超豪華じゃん。っていうか、普通に挨拶しましょうよ」

みの「ファイナルアンサー」

七瀬「了解しただっさ」

鈴木「いやっ、絶対言つてねえだろ！ そんな事！ 第一、分かつたんなら普通に了解したつて言えよ！」

七瀬「輝っ！！ そんなにいじめたら可哀そうでしょっ！」

鈴木「エッ！？ 何で怒られるの？」

七瀬「お便りのコーナー！」

鈴木「無視！？ ラジオなのに言葉のキャッチボール拒否！？」

七瀬「第一通目のお便り」

鈴木「進行重視なのですね、お嬢さん」

七瀬「『七瀬さんと……こんにちわんこ！』はいつ、こんにちわんこ！」

鈴木「ちよつと待てえ！ 俺の名前忘れられてるの！？ んで、『こんにちわんこ』って何？ 恥ずかしい挨拶！ 恒例なの！？」

みの「……こんにちわんこ」

鈴木「みのさん普通に喋った〜！ しかも、恥ずかしい挨拶言っちゃった！」

七瀬「輝うるさい……！」

鈴木「早くも二度目のお叱り……！」

七瀬「『僕は今、好きな女の子がいるんですが、どうやって告白しようか迷ってます。何かいいアドバイスをお願いします。』」

鈴木「ん〜、恋の悩みかあ。告白は難しいもんね。葵ちゃんはどうすればいいと思う？」

七瀬「普通に告白すればいいと思う」

鈴木「なんかテキストなアドバイス来た　　！」

七瀬「みのさんはどう思う？」

みの「ファイナルアンサー」

七瀬「そっかあ、自分には関係ないもんね」

鈴木「リスナーに冷てえ！ みのさん、また戻っちゃってるし、さつき絶対ひどい事言つたよね」

七瀬「さて、次のお便り。『ハアハア……今、どんなパンツはいてるの？』」

鈴木「スタッフー！ 何、変なの紛れこましてるんだよっ！ 注意してやれよっ！ さっ、気を取り直して次のお便りに」

七瀬「白と青のボーダーです」

鈴木「普通に回答した」！

みの「……黒のTバック」

鈴木「みのおさんまで回答した」！ 黒のTバックって、

みのおさんの意外な趣味発覚

プリッキュア プリッキュア プリキュブチツ……

みの「……失礼」

鈴木「みのおさんの着信、プリキュアのOPダア」！

このラジオでみのおさんの秘密出すぎっ！ ケータイぐらい切っつといて下さいよ」

スタッフ「たつた今、新しいお便りが届きましたあ」

七瀬「はい、え〜つと」拝啓、お母さん。僕は今、学校の屋上で死ぬのうと思ってます。こんな……息子でごめんなさい。僕に最後の言葉があるんだしたら、このメールを返信してください。10分後……」何これ？ 迷惑メール？ もあ、スタッフちゃんとしてよねっ！ 怒るぞっ、プンプン！」

鈴木「怒っちゃダメ」！ この便り、かなり深刻じゃん。さっきのメールの方が迷惑メールだよ。しかもこれ、お母さんに送るつもりだったんでしょ、今すぐこのメール返信しましょ。一通のメールで人の命が救えるかもしれないですよっ！」

七瀬「そんな時間ない」

鈴木「ホントお前冷てえ！ この放送時間100時間なんでしょ！ 時間ありありじゃんっ！」

七瀬「ありっ！？ またもやお便りが届いてるようですね」

鈴木「またもやキャッチボール拒否！？ みのおさんどう思います？」みの「……」

鈴木「ラジオで黙秘権はなしですよっ！」

七瀬「『剛っ！ お願い、死なないで！ 母さんが悪かったよ！

これからは、冷蔵庫のプリン食べないからっ！ 頼むから死なない
でくれっ！』」

鈴木「自殺の発端、プリンですか！？ 剛くん、プリンで死なない
でっ！ お母さんもお母さんで、息子のおやつ取らないであげてね
っ。おやつつてすごく楽しみなものなんだよ」

七瀬「ペンネーム、バッファロー糞島さんには、コカ・コーラから
プッチンプリンを111個、贈呈させていただきます。お楽しみに
」

鈴木「ペンネーム、ダセえ！ んでもって、プリン111個ってい
らねえだろ！ そんなに食べねえよ」

みの「……拒否はいいんじゃない？ ケータイにも着信拒否ってあ
るし……」

鈴木&七瀬「????????」

鈴木「……まさかつ、キャッチボール拒否のときの会話！？」

みのさん考えすぎですよっ！ もう話、変わってますからね」

愛と 勇気だけが 友だブチッ…

みの「……失礼」

鈴木「着信音、アンパンマンマーチに変わってる

！

何？ メールと電話で違うの！？ 変えましょう！ 今すぐ着信変
えま……」

七瀬「あら、もうこんな時間！ 夕飯の支度しなくちゃ。じゃあ今
日の放送はここまで。最後は、あなたの来週を占う、葵ちゃんの星
座占いで締めくくろう！ では御機嫌よお」

鈴木「話の途中で終わるな……！！！」

葵ちゃんの星座占い

来週の一位は獅子座のあなた。

空から降りかかる剣の雨はあなたの周りにだけ降ってこないでしょ
う。

ラッキーアイテムは山羊座の人たち。

カツアゲするとかかなりの高確率で一万円が手に入るよ

来週のワースト一位は山羊座のあなた。

来週だけで、100回ぐらい死んじゃうかも。

人生あきらめが肝心だよ

ラッキーアイテムは一万円。

財布に一万円を必ず入れといてください。

何かが起こるかも……

では来週も元気に過ごしましょう

鈴木「来週、獅子座以外生きてねえよ！！ それから、山羊座のヤツ等、一万円なんていれるんじゃないぞ！！！！！！！！！！」

（完）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9397n/>

S Mラジオのお便りコーナー！！～ボケとツッコミが織成す協奏曲～

2010年10月9日19時27分発行